

## シュチェチン・ロータリークラブを通じたウクライナ難民支援のお願い

シュチェチンは、バルト海に面したポーランド北西部の港湾都市で、同市にあるシュチェチン・ロータリークラブは、現在37名のウクライナ難民を支援しています。24名は1歳から18歳までの子供で、その中には、キエフとジダチフの孤児院から避難してきた12名の孤児が含まれています。残りの子供たちは、お母さんと一緒に逃げてきました。2歳までの5人の赤ちゃんには特別なケアが必要で、大人1名を含む3名は、心のケアを必要としています。ロシアの攻撃が続く中、いつ故国へ戻れるのかもわからない状態で、長期間にわたる支援が必要であることは、説明を要さないでしょう。



ホームページには書いてありませんでしたが、連絡を取り合っているシュチェチン RC の会員 Marek Wróblewski 氏（ポーランドの IKEA の取締役だそうです）によれば、さらに11名（7名は子供）のウクライナ難民を受け入れる予定とのことで、義援金はいくらあっても足りません。地区大会で田島ガバナーより紹介された写真は、すべてこの Marek Wróblewski 氏から、送られてきたものです。ここに2枚、添付します。戦火に追われた母と子供たちのため、みなさんの支援をお願いする次第です。



シュチェチン RC と連絡を取り合うようになった経緯ですが、シュチェチンの海事大学で、海事英語の国際学会があったとき、同大学の教員が、ロータリアンだったことに始まります。クラブ名が確かでなかったのですが、シュチェチン RC のホームページを見つけ、この教員に連絡が取りたいこと、ウクライナからの難民支援で何か力になれることはないか、とメールを出しました。大学で出会ったロータリアンは、このクラブのメンバーではなかったのですが、彼女にわざわざ連絡を取り、返事をくれたのが、前出の Marek Wróblewski 氏であった、というわけです。

以下、シュチェチン RC のホームページ (<https://www.rotary.szczecin.pl/>) です。



デンマークへ  
向かう難民の  
シュチェチン  
滞在支援

ウクライナ孤  
児支援の記事

右上の矢印の部分の記事（英語版もありました）を以下に添付します。（日本語訳は高木です）

Our guests (37 Ukrainians) arrived on March 3 at night, they were immediately quartered and fed. The most urgent needs, diagnosis, medical interview and anticovid tests were carried out.

There are 24 children in the group, aged between one and 18 years, included children from Kiyev (7) and Zhidachiv (5) orphanages. The remaining children came with their mothers from Lviv and Stanislavchik. One child brought a dog with him. Five babies up to 2 years require special care. Additionally, at least three, including one adult, need psychological care.

我々のゲスト（37名のウクライナの人々）は、3月3日の夜到着し、直ちに食事と仮の住まいが提供されました。直ちに必要とされるものが与えられ、医療支援のための診断と聴き取り調査、コロナウィルスのテストが行われました。このグループには24名の子供がいて、年齢は1歳から18歳までで、キエフ（7人）とジダチフ（5人）の孤児院からの子供たちが含まれています。残りの子供たちは、リビウとスタニスラブチクから、それぞれの母親とやってきました。一人の子供は愛犬を伴ってきました。2歳までの5人の赤ちゃんには、特別なケアが必要です。さらに少なくとも3名（うち1名は大人）には、心のケアが必要です。